

奥入瀬渓流を迂回する

あおぶなやま

奥入瀬(青楓山)バイパス事業が進んでいます

平成25年度から調査・設計に着手していた奥入瀬渓流を迂回する青楓山バイパスのトンネル工事がいよいよ着手されます。このルートが完成すれば、奥入瀬渓流の交通渋滞が解消され、自然保護が進んでいきます。



事業の背景と目的

日本有数の景勝地「奥入瀬渓流」。文化財保護法では「特別名勝及び天然記念物」、自然公園法では「特別保護地区」に指定され、優れた自然景観が強固に保護されています。この景観を求めて、多くの観光客が渓流沿いを往来し、曲がりくねった道では、しばしば交通渋滞が引き起こされます。

この道は国道です。地域住民の生活ですが、難しい環境に立地しているため、常に災害による通行止めのリスクを抱えています。

また、観光バスやマイカーによる環境悪化も懸念されています。

こうした事態を解消するため、市と県は、迂回路となる奥入瀬(青楓山)バイパスの着工を、長い間国に要望してきました。

工事の着手

焼山から子ノ口へ向かって約3キロメートルの地点にある惣辺交差点

から右折し、青楓山まで7・7キロメートルにわたって先行整備された奥入瀬バイパスは、青森県が平成9年に完成させました。

そして、長い期間を経て平成25年、奥入瀬バイパスの延伸となる青楓山から子ノ口をつなぐ5・2キロメートルのバイパスを、国が直轄権限代行事業として、調査・設計に着手しました。今年度はいよいよトンネル(避難抗)工事に着手します。整備区間の大半がトンネルとなり、事業期間は未定ですが、子ノ口までのルートが計画されています。

長年の望みであるバイパスが開通すれば、焼山から子ノ口まで、安全な経路が確保され、さらに奥入瀬渓流を有効に使うことで、将来の発展へと前進できます。

新しい奥入瀬渓流の姿

奥入瀬渓流区間の交通規制を行えば、交通渋滞が解消され、奥入瀬渓流の自然保護が進むでしょう。さらには、渓流散策の安全性と、快適性

が向上し、奥入瀬の魅力がより際立つことも期待されます。道路空間を作り変えるなどの工夫も可能になり、有名なヨーロッパの観光地のように時折電気バスが静かに走るような、環境に配慮された地帯になるかもしれません。

十和田湖・奥入瀬渓流を永遠に残そう

古くから私たちの生活に多くの恵みをもたらしてきた十和田湖・奥入瀬渓流。しかし今、奥入瀬渓流は、斜面からの落石や倒木、排気ガスによる環境への負荷など、声にならない悲鳴を上げています。バイパスの完成により、今後も奥入瀬渓流の景観が守られ、美しい十和田湖・奥入瀬渓流のさらなる魅力を世界に発信することができます。今、私たちは、奥入瀬渓流の自然を永遠に残すため、どのように守り、どのように観光資源として活用していくのかを真剣に考える時期に来ています。

地域で考える奥入瀬渓流の将来ビジョン

2月9日、第1回奥入瀬渓流の利活用に関する講演会・ワークショップが奥入瀬渓流館で開催されました。講演では、九戸眞樹さん(弘前市教育委員会委員長)が「奥入瀬の将来ビジョン形成には、地域住民の声を反映させる必要がある。地域のリーダーを育て、観光客目線で地域資源を探し、魅力を世界に発信していきたいでしょう」と呼び掛けました。ワークショップでは、バイパスが整備されることで起こる変化、バイパス整備後の観光・生活文化の期待・課題などについて話し合い、積極的に意見が交わされました。続いて、第2回(4月8日)、第3回(6月16日)が開催され、今後も奥入瀬渓流の利活用について活発な意見交換が行われます。



▲「奥入瀬渓流・十和田湖地域の課題とバイパス完成後への期待」と題し、講演する九戸さん



十和田八幡平国立公園 十和田八甲田地域指定80周年

十和田市主催記念行事

観光推進課 ☎6772

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

十和田湖花火大会

とき 7月9日(土)
午後7時30分打ち上げ
会場 十和田湖畔休屋

1尺玉を含む約2千発の打ち上げ花火が80周年を迎えた十和田湖に彩りを添えます。花火観覧船も運行。光と音の共演です。

十和田湖・奥入瀬写真展

期間 7月9日(土)~24日(日)
会場 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」

写真家の岩木登さん、和田光弘さんの写真を展示。地元を見つめてきた二人の写真家が四季折々の十和田湖・奥入瀬の魅力を伝えます。

#SnSnap

期間 7月9日(土)~10月30日(日)
会場 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」

スマートフォンで撮影した写真を「#laketowada」を付けてSNSに投稿すると、専用端末機械から写真が印刷されるサービスです。

紙わざ展

期間 7月30日(土)~8月14日(日)
会場 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」

紙という素材を追求した“紙わざ”作品を展示します。それぞれの発想で生み出された紙とは思えないほどの斬新な作品をご覧ください。

十和田湖・奥入瀬絵画展

募集期間 8月8日(月)~9月16日(金)
展示期間 10月15日(土)~11月16日(日)
会場 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」

十和田八甲田地域の魅力を再発見する絵画展開催に伴い、後世に残すべき同地域の絵画を募集します。

上十三の味力をぎゅっ！ 十和田湖味紀行

とき 10月1日(土)・2日(日)
午前10時~午後3時
会場 十和田湖畔休屋特設会場

上十三エリアの特産品や名物グルメを一堂に集結！ぜひこの機会にご賞味ください。